

不審者情報や子どもたちの安全な生活のための情報や願いをお伝えします！

HOKUTO

安全・安心情報

札幌市立北都小学校 令和4年4月21日 発行

歩行中・走行中の事故を防ぐために

雪解けが進み、本格的に春らしい日が増えてきました。お外で活動することができる季節になってきました。お休みの日や放課後、公園等へ遊びに出かけたり、サイクリングなどに出かけたりする機会も増えます。

昨日、札幌市内で、自転車で道路を横断していた小学生が自動車にはねられ、死亡するという痛ましい事故が起きました。

自転車乗車中の交通事故は、ときに自分がケガをするだけでなく、相手にケガをさせる危険もあります。自転車乗車中は常に周りを気にしながら事故に遭わない、起こさないように注意しながら乗るようにしてほしいと思います。

ご家庭でも今一度ルールのご確認をお願いいたします。

歩行中の基本的な交通ルール

1. 歩道・路側帯があるところでは、必ず歩道・路側帯を歩くこと
2. 歩道・路側帯のない道では、道路の右側を歩くこと
3. 歩行者用の信号を必ず守ること
4. 道路を横断するときは、回りの安全を確認してから渡ること

自転車安全利用五則

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行
4. 安全ルールを守る
 - ・二人乗り、並走の禁止
 - ・夜間はライトを点灯
 - ・交差点での信号遵守と一時停止、安全確認
5. 子どもはヘルメットを着用

※歩道は歩行者優先ですが、13歳未満の児童は例外的に歩道を通行することができます。



子どもたちが事故に遭わないために

○交通安全に関する学校での指導

- * 歩道を歩いたり、横断歩道を渡ったりする時には、他の歩行者に迷惑にならないように、広がりすぎないように気を付けましょう。
- * 交差点など道路を横断するとき、先の見えない曲がり角では、必ずいったん止まって安全を確認してから渡りましょう。
 - ※走って渡ると、「とび出し」になってしまいます。左右を確認しながら歩いて渡りましょう。
 - ※できるだけ信号や横断歩道のある場所で渡りましょう。
- * 道路に飛び出したり、車の直前直後を横断したりすることは、とても危険です。絶対にやめましょう。
- * 歩道を走る自転車も多いので、歩道を歩く時でも油断しないで、周りの様子に気を付けて、落ち着いて歩きましょう。
 - ※特に、登下校の時は、走らないように気を付けましょう。
- * キックボードやブレイブボードに乗るときは、道路や駐車場などの危険な場所を避け、安全な場所で利用するようにしましょう。
 - ※キックボードやブレイブボードの利用を禁止している公園もありますので、確認してからマナーを守って利用するようにしてください。
- * 車がライトを付ける薄暮の時間帯や夜は、車の前を横切るときに、対向車から見えにくく（見えない場合も）なりますので、気を付けるようにしましょう。
 - ※反射材を付けたり、明るい色の服装にしたりすると、安全が高まります。